

FUJIEDA ROTARY CLUB Weekly Bulletin

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040

会長：柳原寿男 副会長：鈴木廣利
幹事：宮川邦光 副幹事：松葉隆夫



2004-2005年度
RIテーマ

ロータリーを
祝おう

100年の歩み

グレンE.エステス・シニア



野に咲くマーガレット

[写真提供：青島克郎君]

第1622回

<ソング>それこそロータリー
<ソングリーダー> 岩崎四郎君



会長挨拶

柳原 寿男君

小泉内閣の掲げる行革の最大の目玉である、郵政民営化法案の国会での審議が始められようとしています。今会期内での成立をはかるため、特別委員会設置について、政府と野党との駆け引きが取り沙汰されています。

私共の郵便箱には、かつて朝刊と夕刊以外はすべて、郵便局から配達されたものばかりでしたが、近頃は宅配業者によるものが増えているようです。初めの頃は部厚い書籍だけでしたが、今では極く薄いダイレクトメールの様なものまで配達されて来ます。他方、郵便局からお米が届けられる時代でもあります。

さて4月に個人情報保護法が施行されました。これに関連した文書も一時、頻繁に送られてきました。私共開業医の場合、毎月、定期的な雑誌類の他、小冊子やらダイレクトメール等かなり膨大な文書が送り付けられてきます。日本医師会、県医師会、所属する学会からの雑誌の他に購読している専門誌、そして製薬会社から薬の副作用情報、PRや添付文書の改訂のお知らせ等々、一通り目を通すとなるとかなりの時間と努力を要します。

此の度の個人情報保護法については、もともと医師には厳しい守秘義務が課せられておりまして、改めて問題となることはありません。

さて医療界も大きな変革がありました。かつての医師が患者の上に立つ形ではなく、患者と医師は対等であるという考えに変わってきました。患者は自分の病状や治療について、説明を受ける権

利があり、医療機関も自由に選択することが出来ます。かかりつけ以外の他の医師の意見も求める権利（セカンドオピニオン）もあります。医師まかせではなく、自分の意見も遠慮なく述べることで、納得のいく医療を受けられる時代になりました。此の時代の流れの中で、「癌の告知」も自然になされることになりました。早期に発見されれば癌治療率も著しく向上した結果です。医師側も告知によって治療し易くなりました。しかし末期の癌患者には、残された余命の生き方に悩まなければならない事態もあります。情報提供のあり方について、ふと考えさせられる時代です。

幹事報告

宮川 邦光君

- 国際ロータリー第2620地区渡邊ガバナー、国際奉仕委員会及び青少年交換委員会の各委員長より2006年～07年青少年交換事業実施クラブ募集の案内が届いております。
- 新富士RC鈴木会長より第13回富士っ子トライアスロン大会開催のお知らせと参加者募集についての案内が届いております。
- 静岡、静岡北、静岡西の各クラブより会報が届いております。
- 藤枝子どもと本をつなぐ会通信No18が届いております。
- 藤枝市社会福祉協議会より17年度第1回評議員の開催についての案内が届いております。
- 藤枝市国際友好協会よりFIFS NEWS No70号が届いております。

- 「山田辰美先生を囲む会」の案内が届いております。

出席報告

松葉 隆夫君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
29 / 41 70.73%	25 / 41 60.98%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 青島克君 ○石垣君 ○小西君 ○鈴木廣君
- 宮崎君 ○村松宏君 ○山田君 浅川君
- 板倉君 鈴木舜君 仲田晃君 望月志君

(2)メイクアップ者

- 村松 宏一君(静岡・焼津南)
- 宮崎 啓之進君(焼津南) 鈴木 廣利君(榛南)
- 青島 克郎君(新世代サミット・次年度インターアクト委員長会議)

ビジター

伴野 正明君(藤枝南)

スマイルBOX

松葉 義之君

- 第79回のたん生日です。(T. 15. 5. 5) 全国民に日の丸を掲げてお祝いして頂きました。
村松 徳君
- 夫人誕生祝、家では祝った事が無く今年初めて我が家でもお祝いの宴を。会では毎年有難う御座います。
杉山 静一君
- 結婚お祝いを頂き感謝しております。
酒向 謙次君
- お祝いありがとうございます。何回目になるのか判りません。
宮川 邦光君
- 結婚記念日祝をありがとうございます。
柳原 寿男君
- 過日母の葬儀に関しまして会員の皆様方の御厚情に対し感謝の気持ちをスマイルします。
杉山 静一君

スマイル累計額 641,300円

国際奉仕委員会

仲田 廣志君



交換学生

受入について

<学生プロフィール>

氏名 KAVE GRANERO CACAIS
 年令 17才
 住所 フランカ(サンパウロから400km、標高の高いところ)

家族構成 父、母、本人(一人子)

<受入にあたって>

- 8月下旬に来日して約1年間滞在
- 通学校 藤枝明誠高校
- カウンセラー 石垣君
- 3~4家庭にホームステイ
- 最初のホストファミリーは竹越家
(3~4カ月間)

●藤枝クラブで3家庭ホストファミリー

<ホストファミリーマニュアル>

- 交換学生がホストファミリーに求めるものは「自分を歓迎してくれる心」
- ホストファミリーとしての基本姿勢
家族の一員として迎える お客様扱いはしない
交換学生を歓迎する気持ちが第一
交換学生には各家庭のルールを守らせる(宗教は強制しない)

自分の身の回り、家事の手伝い等もさせる

食事 三食ホストファミリーの責任
 学校での昼食は弁当又は昼食代
 普通通りの食事

言葉 ホストファミリーは日本語の先生
 交換学生全員の声として「ホストファミリーは英語が話せない方がいい」
 必要にせまられて勉強すると早く日本語を覚える

- 例会 講演会への機会を与える
交換学生はスライドを用意して来ているので親類、町内会、子供会等でミニ講演
- 小遣い ホストロータリークラブより
月10,000円
ホストファミリーは必要な昼食代のみ
- 旅行 地区外はロータリーの許可が必要
友達だけの泊まりは禁止
- プレゼント 誕生日、クリスマス、高価な物は贈らない。
- 電話 国内 ホストファミリーが負担
国際 本人負担(但し3ヶ月禁止)

ホストファミリーとしては、交換学生に対して家族の一員として扱い、自然体で接することが重要
「人様の子を預かっている」という考えから過保護になりがち

外国の子は小さい時から自分の行動に責任を持つことを教えられている。

高校生は大人の扱い

本人も自覚しているので大人扱いで良い

お知らせ

『藤枝子どもと本をつなぐ会』平成17年度総会

日 時：平成17年5月18日

午前9時30分～10時10分

会 場：生涯学習センター（第一会議室）

松葉義之会員に出席していただきました。

(担当 / 成瀬)